

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 88 2014年6月

発 行：日本信頼性学会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11 一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会第26回春季信頼性シンポジウム

例年のごとく総会に併せて春季信頼性シンポジウムを開催いたします。わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思いますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思います。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、それに支えられた良い社会を築くことが重要であります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(日 時) 2014年6月23日(月) 13:00~19:00

(会 場) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル(渋谷区千駄ヶ谷 5-11-10)

(JR代々木駅・千駄ヶ谷駅より徒歩約10分、副都心線 北参道駅から徒歩約7分、都営大江戸線 代々木駅・国立競技場駅から徒歩約10分)

http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

(プログラム) 学会ホームページに掲載しています。→ <http://www.reaj.jp/>

(参加費) <シンポジウム参加費> 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 2,500円、
非会員 3,500円、学生 1,000円

<情報交換会参加費> 2,000円

(申 込) 会員の方は、ご出欠回答書(葉書)でお申し込みください。会員外の方は学会ホームページの「参加申込フォーム」よりお申し込みください。→ <http://www.reaj.jp/>

(申込先) 日本信頼性学会事務局 電話 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟 内

日本信頼性学会 IECディペンダビリティ規格研究会

信頼性、保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です。会合は、月一回。いつからでも入会できます。

(日 時) 2014年6月24日(火) 18:30~21:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル会議室

(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分、地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分、都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

(内 容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ、保全性プログラムの適用の手引き、IEC 60300-3-10: Maintainability の研究を行います。規格の翻訳とその内容の審議を行い、適用上の問題点を明確にし、最終的に訳文書と解説書を作成します。理解を広める上で必要な関連規格、60300-3-11: Reliability centered maintenance, 60300-3-12: Integrated logistic support なども適宜調査します。前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審査及び解説書のまとめを併行して行います。

この研究会は、これらの規格を正確に理解し、わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い、会員に周知したいと考えています。新しい会員、特に、若手会員の参加を歓迎します。

(連絡先) 主 査 山内 慎二 (自宅) Tel/Fax 03-3948-7364

副主査 黒田 豊 (自宅) Tel/Fax 042-563-1501

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

当研究会は、信頼性シンポジウム、学会誌『信頼性』、解説書（『ライフサイクル コスティング—JIS C5750-3-3 導入と適用事例—』）の発行を通じて、Lcc (Life cycle costing) に関する様々な研究成果を発表するとともに、Lcc の啓発活動もおこなっています。

毎月 1 回、原則として金曜日の夜に千駄ヶ谷もしくは東高円寺の日科技連ビルに集まり、2 時間にわたる研究会を開催しております。前半の 1 時間は情報交換と称し、各メンバーがこの 1 ヶ月間で収集した Lcc に関する情報提供などを行います。後半の 1 時間は毎回担当を決めて各自の最新の研究成果を報告し、質疑応答および討論を行います。なお、研究会メンバーだけではなく外部からゲストスピーカーを招き、Lcc に関連性のあるトピックスで講演いただく場合もあります。当研究会以外のメンバーの参加も大歓迎です。

私たちと一緒に Lcc の研究を進めてくださる仲間を募集しています。Lcc に少しでも関心がある方は、ぜひ研究会の会場にお越しください。お待ちしております。

(日時と講演内容)

2014 年 6 月 27 日 (金) 18:00～20:00

18:00～19:00 情報交換会

19:00～20:00 講 演

2014 年 7 月 25 日 (金) 18:00～20:00

18:00～19:00 情報交換会

19:00～20:00 講 演

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷ビル会議室

(渋谷区千駄ヶ谷5-10-11) (JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分, 地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分, 都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com

同 副主査 夏目 武 natsume@kiu.biglobe.ne.jp

日本信頼性学会 故障物性研究会 6 月例会 (第 114 回)

(日 時) 2014 年 6 月 20 日 (金) 13:00～17:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷ビル 3号館3階C室

〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11 http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

(議 題)

- 1) 幹事会からの連絡事項 13:00～13:15
- ・新入会員の紹介, オブザーバの紹介
 - ・日本信頼性学会情報他
- 2) 特別(招待)講演
- ① 「(仮)難燃剤①(リン系難燃剤の信頼性・安全性について)」 13:15～14:15
- 燐化学工業(株) 倉本 佳文様
- ※ 難燃剤の1回目です。今後ハロゲン系や無機系難燃剤の講演を予定
- ② 「(仮)Snウイスカの研究動向」 14:15～15:00
- 三菱電機株式会社 藤間 美子様
- (休憩) 15:00～15:15
- 3) プレゼン
- 「実装回路基板の大量生産工場における出荷品の製造品質保証」 15:15～15:45
- 会員 阿知波 雅久氏
- 4) 紹介&議論
- 「不再現(不安定)に関する議論(その8)」 15:45～16:45
- 味岡恒夫氏他 全会員
- 5) 今後の予定 16:45～17:00
- ・8月例会(第114回)開催案内(案)
 - 日時:8月22日(金)13:00～17:00, 場所:日科技連 千駄ヶ谷 1号館3階講堂
 - ・その他
- (連絡先) 日本信頼性学会 事務局 reaj@juse.or.jp
- 故障物性研究会 主査 土屋英晴 hideharu-tuchiya@anden.co.jp
- 副主査 味岡恒夫 ajioka542@oki.com

2014年度 第30回 FMES シンポジウム

ビッグデータ利活用と価値創造

(日 時) 2014年7月11日(金) 13:00～17:05

(会 場) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 1号館3階講堂(渋谷区千駄ヶ谷5-10-11)

http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

(主 催) 経営工学関連学会協議会

(共 催) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会, 公益社団法人日本経営工学会, 一般社団法人経営情報学会, 研究・技術計画学会, 日本信頼性学会, 一般社団法人日本設備管理学会, 一般社団法人日本品質管理学会, 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会(順不同)

(開催趣旨) インターネットの普及とIT技術の進化によって生まれた大容量かつ多様なデータ, いわゆる『ビッグデータ』とその活用が注目されています。経営工学関連学会協議会(FMES)においても, ビッグデータの現状を理解し, その利活用について議論していくことは意義があります。第30回FMESシンポジウムでは「ビッグデータ利活用と価値創造」をテーマにして, ビッグデータやデータサイエンスに造詣が深い方に, 各々の専門分野の視点から, ビッグデータ時代にどのように向き合うか, どうすれば価値創造につながるか, さらに, ビッグデータ

を活用できる人材をどう育成するかなどについて講演いただきます。

(定員) 150名

(プログラム)

(敬称略)

13:00～13:10 開会挨拶 FMES 会長 渡邊 一衛氏

13:10～14:00 講演 1:「我が国におけるデータサイエンティストの現状と展望」

丸山 宏氏 (統計数理研究所 副所長 教授)

14:10～15:00 講演 2:「製造業におけるデータ・ドリブン分析の適用事例」

吉野 睦氏 (㈱デンソー品質管理部 TQM 推進室担当次長)

15:10～16:00 講演 3:「ビッグデータとビジネス・アナリティクス」

中川 慶一郎氏 (㈱NTT データ数理システム 取締役)

16:10～17:00 講演 4:「ロングテール時代における、サービスを高度化させるデータの活用」

森 正弥 (楽天㈱ 執行役員 兼 楽天技術研究所長 兼 ビッグデータ部副部長)

17:00～17:05 開会挨拶 日本品質管理学会 (幹事学会) 会長 中條 武志氏

(資料代) 4,000 円 (学生 1,000 円) 税込 資料代は開催当日受付にてお支払いください。

(申込先) 一般社団法人 日本品質管理学会 事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟内

TEL 03-5378-1506 FAX 03-5378-1507 E-mail: apply@jsqc.org

(Web 申込) <http://www.jsqc.org/q/news/2014/07/11/order85/order.html>

詳細は、<http://www.jsqc.org/fmes/events/140711.html> をご参照ください。

マテリアルライフ学会「第 25 回研究発表会」

(日時) 2014 年 7 月 3 日 (木) ～ 4 日 (金)

(会場) 品川インターシティ A 棟 19 階

北陸先端科学技術大学院大学 東京サテライト (東京都港区港南 2-15-1)

(主催) マテリアルライフ学会

(協賛) 日本信頼性学会 他

(概要) マテリアルライフ学会では、「第25回研究発表会」を7月3日、4日に北陸先端科学技術大学院大学 東京サテライト (JR品川駅徒歩5分) で開催いたします。当学会では、研究発表会を新素材開発や新製品開発において重要な特性である耐久性や劣化について、幅広く討議する場と考えております。例年通りセッション制にて行いますので、各募集内容をご覧になり、皆様のご発表をお待ちしております。

(問合先) マテリアルライフ学会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-6-8

TEL 042-625-4789 FAX 03-5695-1939 E-mail: mls@kt.rim.or.jp

詳細は、<http://materials-life.org/> をご参照ください。

第 6 回信頼性・保全性モデリングに関するアジア・太平洋国際シンポジウム

(APARM2014)

(日時) 2014 年 8 月 21 日 (木) ～ 23 日 (土)

(会場) 北海学園大学 豊平キャンパス 国際会議場 (札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 番 40 号)

(主催) APARM2014 実行委員会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(概 要) APARM (信頼性・保全性モデリングに関するアジア・太平洋国際シンポジウム) は来年で6回目の開催を迎える信頼性工学分野の国際会議です。過去10年間に渡り、幅広い信頼性関連テーマで海外の研究者/学生の皆様が参集され、討論できる場となっております。第6回シンポジウム (APARM2014) はテーマを“Recent Developments on Reliability, Maintainability and Dependability” と題し、平成26年8月21日～23日に札幌の北海学園大学で開催されます。

皆様のご参加を心からお待ちしております。

(問合先) APARM2014実行委員会 実行委員長 山本久志

〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6 首都大学東京システムデザイン学部

TEL/FAX:042-625-4789 E-mail : aparm2014@aparmnet.org

詳細は、<http://www.aparmnet.org/> をご参照ください。

OR 学会 2014 年秋季シンポジウム

(日 時) 2014 年 8 月 27 日(水)

(会 場) 北海道科学大学 (札幌市手稲区前田七条 15 丁目 4 番 1 号)

<http://www.hus.ac.jp/access/index.html> または <http://www.hit.ac.jp/nyushi/access/>

(主 催) OR 学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(テーマ) 「メタヒューリスティクスの新たなる挑戦」

詳細は、http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/?page_id=5 をご参照ください。

OR 学会 2014 年秋季研究発表会

(日 時) 2014 年 8 月 28 日(木), 29 日(金)

(会 場) 北海道科学大学 (札幌市手稲区前田 7 条 1 5 丁目 4 番 1 号)

<http://www.hus.ac.jp/access/index.html> または <http://www.hit.ac.jp/nyushi/access/>

(主 催) OR 学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(テーマ) 「OR の普及」

(発表申込) 5/22～6/22

詳細は、<http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/> をご参照ください。

(上記 2 件のお問合せ先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

第 31 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

(日 時) 2014 年 10 月 20 日 (月) ～22 日 (水)

(会 場) くにびきメッセ (島根県松江市)

(主 催) 電気学会 センサ・マイクロマシン部門

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(概 要) 電気学会センサ・マイクロマシン部門では、第31回「センサ・マイクロマシンと応用シス

テム」シンポジウムを、2014年10月20日（月）～22日（水）、松江市にて開催します。本シンポジウムは学・協会を超えた研究グループ間の情報の交換、アイデアの討議の場としてセンサ・マイクロマシンのさらなる発展を目標に開催される日本最大のシンポジウムです。

同会場においては、日本機械学会マイクロ・ナノ工学部門主催「マイクロ・ナノ工学シンポジウム」および応用物理学会集積化 MEMS 技術研究会主催「集積化 MEMS シンポジウム」が同時に開催されます。

まさに、学会横断的な情報交換、ディスカッションが出来る貴重な機会です。多くの方のご投稿、ご参加をお待ちしています。

(問合せ先) 第31回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム事務局

株式会社セミコンダクタポータル TEL 03-5733-4971

E-mail : sensorsympo_2014@semiconportal.com

詳細は、<http://www.sensorsymposium.org/> をご参照ください。

第34回ナノテストングシンポジウム (NANOTS2014)

(日 時) 2014年11月12日（水）～14日（金）

(会 場) 千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市新千里町1-4-2）

(主 催) ナノテストング学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(概 要) LSI等のナノスケール構造を持った材料・デバイスのテストング（テスト、デバッグ、診断、物理解析）技術を主たるテーマとするシンポジウムです。

(問合せ先) ナノテストング学会 事務局 三浦克介氏、御堂義博氏

吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院情報科学研究科 情報システム工学専攻 中前研内

TEL06-6879-7813 FAX06-6879-7812 E-mail : NANOTS@ist.osaka-u.ac.jp

詳細は、<http://www.-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp> をご参照ください。

8th International Conference on Project Management (ProMAC2014)

(日 時) 2014年12月3日（水）～6日（土）

(会 場) The Royale Chulan Kuala Lumpur, Malaysia

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(概 要) PM学会では、「ProMAC 2014」の名称で第8回PM国際会議をクアラルンプールで開催いたします。最高のロケーションで、新たな国際交流の場をご提供いたします。

PM関連技術は、FMES会員学会の皆様のフィールドと深く関わっております。皆様が培った知識やノウハウはPMにとって大いに役立つものと考えております。

この機会に国際会議で発表されたことのない方は勿論、他国のエンジニアらと交流したい方、自身の経験を国際会議の場で発表されたい方など国際会議にご興味のある方は是非発表をお勧めいたします。

(問合せ先) ProMAC事務局

論文・発表等に関するお問合せ : promac@spm-hq.jp

詳細は、<http://www.spm-hq.jp/promac/2014/> をご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
<u>IEC ディペンダビリティ規格研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2014/6/24		http://www.reaj.jp/
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2014/6/27		http://www.reaj.jp/
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2014/6/20		http://www.reaj.jp/
<u>日本信頼性学会 第 22 回春季信頼性シンポジウム</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2014/6/23		http://www.reaj.jp/
マテリアルライフ学会 第 25 回研究発表会	北陸先端科学技術大 学院大学 品川	2014/7/3-4		http://materials-life.org/
2014F 年度 第 30 回 FMES シンポジウム ビックデータ利活用と価値創造	日科技連 千駄ヶ谷	2014/7/11		http://www.jsqc.org/fmes/events/140711.html
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2014/7/25		http://www.reaj.jp
第 6 回信頼性・保全性モデリングに関するアジア・太平洋国際シンポジウム (APARM2014)	北海学園大学 北海道札幌市	2014/8/21-23		http://www.aparmnet.org/
OR 学会 2014 秋季シンポジウム	北海道科学大学 札幌市	2014/8/27		http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/?page_id=5
OR 学会 2014 秋季研究発表会	北海道科学大学 札幌市	2014/8/28-29		http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/
第 31 回センサ・マイクロマシンと応用システムシンポジウム	くにびきメッセ 島根県松江市	2014/10/20-22		http://www.sensorsymposium.org/
第 34 回ナノテストニングシンポジウム (NANOTS2014)	千里ライフサイエンスセンター 豊中市	2014/11/12-14		http://www.-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp
8th International Conference on Project Management (ProMAC2014)	The Royale Chulan Kuala Lumpur, Malaysia	2014/12/3-6		http://www.spm-hq.jp/promac/2014/